

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ロブテックス

コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 経営管理本部長 (氏名) 山口 正光

TEL 072(980)1110

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,645	1.5	176	△13.0	126	△15.0	67	6.8
23年3月期第2四半期	2,607	19.0	203	54.9	148	60.6	63	41.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 86百万円 (68.6%) 23年3月期第2四半期 51百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7.16	—
23年3月期第2四半期	6.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,939	2,098	29.0
23年3月期	7,005	2,035	28.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,014百万円 23年3月期 1,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	△3.2	370	△18.7	240	△32.0	140	△36.9	14.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,000,000 株	23年3月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	587,633 株	23年3月期	586,919 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	9,412,793 株	23年3月期2Q	9,414,526 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響による企業活動の停滞という状況からサプライチェーンの復旧や復興需要の高まりにより回復傾向をたどりましたものの、欧米を中心とする海外経済の停滞や急激な円高等の景気下押しへの懸念材料も多く、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは企業体質の改善・強化を目指した2011年度から2013年度までの中期経営計画を策定し、その初年度である2011年度の経営スローガンを2010年度に引き続き、「グループ全員一丸となり、変化を恐れず、新たな価値を創造します」とし、各社・各部門・各職位の役割を明確化させ、日々変わりゆく市場ニーズ・ウォンツに即応し、新たな価値を提供し続ける体制を築くことに取り組んでまいりました。その結果、売上高は前年同期比1.5%増の26億4千5百万円（前年同期26億7百万円）となり、利益面では、営業利益で同13.0%減の1億7千6百万円（同2億3百万円）、経常利益で同15.0%減の1億2千6百万円（同1億4千8百万円）、四半期純利益で同6.8%増の6千7百万円（同6千3百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

<金属製品事業>

国内売上におきまして、ハンドツール部門では電設工具の売上回復に加え、東日本大震災の復興需要と見られる万力類の増加もあり、総じて堅調に推移しました。ファスニング部門ではエアリーベッターの売上回復はありましたが、前期に多数発生した工業用ファスナーの需要案件数が落ち着きを見せたことにより売上が減少しており、切削工具部門では新商品の投入や拡販努力により売上が増加いたしました。海外売上におきましては、ハンドツール部門では韓国向けにニッパー類の減少はありましたが、拡販努力によりレンチ類や電設工具が増加しました。ファスニング部門ではエアリーベッターが欧米向けに回復しました。その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比2.1%増の25億2千9百万円（前年同期24億7千8百万円）となりました。利益面では増収や経費削減効果はありましたが、人件費における賞与引当の増加等により、営業利益は前年同期比10.5%減の1億3千2百万円（前年同期1億4千8百万円）となりました。

<レジャーその他事業>

高気温などの天候影響により、ゴルフ練習場への入場者数が減少したことに加え、お客様一人当たりの売上高についても低下し、売上高は前年同期比9.6%減の1億1千6百万円（前年同期1億2千8百万円）となり、営業利益は設備のリニューアル費用の発生もあって、前年同期比19.9%減の4千4百万円（前年同期5千5百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は69億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千6百万円減少しました。

<資産>

流動資産は前連結会計年度末比1億5千6百万円減の38億7千8百万円となりました。これは主にたな卸資産が増加する一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は同9千1百万円増の30億6千万円となりました。これは主に有形固定資産がその取得を超えた減価償却により減少しましたが、長期性預金が増加し、また、評価替えにより投資有価証券が増加したことによるものです。

<負債>

流動負債は前連結会計年度末比6億4千8百万円減の25億6千4百万円となりました。これは主に買掛金の増加はありましたが、一年内社債の償還及び未払法人税等が減少したことによるものです。

固定負債は同5億1千9百万円増の22億7千5百万円となりました。これはリース債務の減少がありましたものの、長期借入金が増加したことによるものです。

<純資産>

純資産は前連結会計年度末に比し6千2百万円増加し、20億9千8百万円となりました。これは利益剰余金については配当金支払いによる減少要因はありましたが、四半期純利益の計上により増加し、また、その他有価証券評価差額金についても増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ9千2百万円減少(前年同期4億1千8百万円の増加)し、13億1千2百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

たな卸資産の増加はありましたが、売上債権の減少や減価償却費の計上、税金等調整前四半期純利益の計上により、資金が2億2千9百万円増加(前年同期3億5千1百万円の増加)しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

定期預金の預入と有形固定資産の取得を主因に、資金が2億2千3百万円減少(前年同期5百万円の増加)しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

リース債務の返済並びに配当金の支払による支出を主因に資金が9千8百万円減少(前年同期6千1百万円の増加)しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成23年11月1日に発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,405,368	1,312,586
受取手形及び売掛金	1,093,656	967,461
商品及び製品	905,358	966,448
仕掛品	271,781	273,341
原材料及び貯蔵品	226,850	226,164
その他	140,680	138,161
貸倒引当金	△8,044	△5,242
流動資産合計	4,035,652	3,878,921
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,034,090	1,001,976
土地	738,508	738,508
その他（純額）	844,295	805,874
有形固定資産合計	2,616,894	2,546,358
無形固定資産	55,284	47,407
投資その他の資産	296,643	466,311
固定資産合計	2,968,823	3,060,078
繰延資産	899	—
資産合計	7,005,374	6,939,000
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,381	275,680
短期借入金	1,947,436	1,889,444
1年内償還予定の社債	500,000	—
未払法人税等	74,135	16,109
その他	450,999	383,663
流動負債合計	3,212,952	2,564,897
固定負債		
長期借入金	1,343,452	1,886,040
退職給付引当金	28,863	30,184
役員退職慰労引当金	3,120	3,120
その他	381,449	356,578
固定負債合計	1,756,884	2,275,922
負債合計	4,969,837	4,840,820

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	633,880	677,742
自己株式	△148,354	△148,447
株主資本合計	1,936,572	1,980,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,316	34,183
その他の包括利益累計額合計	22,316	34,183
少数株主持分	76,648	83,655
純資産合計	2,035,537	2,098,180
負債純資産合計	7,005,374	6,939,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,607,140	2,645,935
売上原価	1,700,099	1,742,412
売上総利益	907,041	903,523
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	233,920	240,808
その他	469,776	485,852
販売費及び一般管理費合計	703,697	726,660
営業利益	203,344	176,862
営業外収益		
受取利息	354	188
受取配当金	914	2,739
その他	10,158	9,327
営業外収益合計	11,427	12,256
営業外費用		
支払利息	40,989	37,956
売上割引	19,350	21,546
その他	5,750	3,182
営業外費用合計	66,089	62,685
経常利益	148,682	126,433
特別利益		
貸倒引当金戻入額	103	—
特別利益合計	103	—
特別損失		
固定資産除却損	220	1,051
子会社株式売却損	711	—
その他	52	—
特別損失合計	984	1,051
税金等調整前四半期純利益	147,801	125,382
法人税等	75,366	51,165
少数株主損益調整前四半期純利益	72,434	74,216
少数株主利益	9,338	6,821
四半期純利益	63,096	67,394

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	72,434	74,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,281	12,052
その他の包括利益合計	△21,281	12,052
四半期包括利益	51,152	86,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,967	79,261
少数株主に係る四半期包括利益	9,185	7,007

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	147,801	125,382
減価償却費	136,628	126,674
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,538	△2,781
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,028	1,320
受取利息及び受取配当金	△1,268	△2,928
支払利息	40,989	37,956
有形固定資産除却損	220	1,051
投資有価証券評価損益(△は益)	52	—
子会社株式売却損益(△は益)	711	—
売上債権の増減額(△は増加)	△19,548	125,799
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,194	△61,963
その他の資産の増減額(△は増加)	△38,996	5,361
仕入債務の増減額(△は減少)	97,334	35,299
その他の負債の増減額(△は減少)	21,246	△56,822
小計	415,854	334,350
利息及び配当金の受取額	1,274	2,818
利息の支払額	△42,553	△39,546
法人税等の支払額	△22,960	△68,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	351,615	229,381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△196,000
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△8,816	△26,041
投資有価証券の取得による支出	△95,367	△1,768
子会社株式の売却による収入	7,888	—
その他	1,323	179
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,027	△223,630
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	△180,000
長期借入れによる収入	934,000	870,000
長期借入金の返済による支出	△195,304	△205,404
社債の償還による支出	△300,000	△500,000
リース債務の返済による支出	△67,387	△59,549
自己株式の取得による支出	△160	△93
配当金の支払額	△9,415	△23,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	61,732	△98,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	418,376	△92,782
現金及び現金同等物の期首残高	1,074,107	1,405,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,492,484	1,312,586

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,478,253	128,887	2,607,140	—	2,607,140	2,607,140
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,478,253	128,887	2,607,140	—	2,607,140	2,607,140
セグメント利益	148,100	55,244	203,344	—	203,344	203,344

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,529,479	116,456	2,645,935	—	2,645,935	2,645,935
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,529,479	116,456	2,645,935	—	2,645,935	2,645,935
セグメント利益	132,603	44,259	176,862	—	176,862	176,862

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。